

# 福新新聞

(毎月廿五)二回  
定價 郵税五厘 月廿錢  
廣告料 報費五十錢  
發行所 福新新聞社  
市島 範三

はリスケ  
目丁五町平  
局藥邊野山  
.....る 限に.....

## 祝 泉藩主本多忠彦侯 記念碑建設除幕式

武將として日本歴史上に燦として萬古に威名輝く徳川家の柱石本田平八郎忠勝侯の裔本田忠彦侯は實に祖先の威靈をはずかしめざる明治時代の武將であつた且つて國を擧げて勇奮せる日露戦役に轉戦軍人の模範として勇闘を續けつゝあつたが

征露の役に目醒しき勳功を慾まゝにして名譽ある戦死をした。而して今に至るも泉武士の魂を失はざる舊藩士は侯の威靈に供へるべく其の當時東都弘福寺境内に碑を建立して英靈の安慰に怠りなかつたが、大正十二年に於ける震災の際不幸建

石の破壊を見たので其の後福島縣に於ける名譽村長として本年七月申勳七等瑞寶章に徐せられた近代稀に見るの君子人である

前村長 中村立躬氏、上遠野現村長 初め侯に縁因を有する有志全體が相計り泉村泉神

社境内に、その功績記念碑の建設をなすこと、なり盡力の結果此程雄大壯嚴なる碑を建立されるに至ることは實に舊藩士よりなる泉村會議員諸氏の主を徳眞實義を賞揚するに共々を仰敬するものである。本社は謹而此の盛事を近代の最大美譽として敬祝するものである。

### 碑銘 (既成録書)

以華胄投身軍籍、殉邦家之難立不朽之績、其人爲誰吾本多忠彦君是也、君爲本多忠勝君之裔而警城泉城主從三位忠伸君之長子、明治十年十一月三日生於東京深川富川町之邸、十六年十一月嗣家十七年七月授子爵、三十年十一月叙從五位、及長卒學習院中學校之業、復卒業於士官學校三十五年六月任陸軍步兵少尉、屬近衛步兵第二聯隊、此年叙正五位、三十七年二月征露之師起君欣然從軍以小隊長轉戰鴨綠江、九連城、鳳凰城、岫巖城、分水嶺、樣子嶺各地、進向遼陽、八月二十六日戰死於大西溝北方之高地、此戰蓋極激烈、聯隊長深谷大佐馳書告家、略曰、大西溝之戰不惟關吾聯隊之存亡、實繫全軍之安危、敵彈雨注、死傷相續大隊長中隊長皆負重傷、君距躍奮進、代中隊長、苦戰數時、漸挫敵勢、忽飛彈貫耳下、血淋漓、至死神色不變、又曰、君屢屢重任克全其職、其有功於聯隊者實不尠也、此日擢中尉、叙從四位功五級勳六等、賜金鷄勳章、並單光旭日章及年金三百、十一月十三日葬遺骨於牛島弘福寺先塋之次、頃者、其遺族建碑以傳不朽、齋遺書及行狀來徵文於余、君嘗在吾爾好、塾者二年有餘、義不可辭之、乃案狀揮淚曰、嗚呼君之死實可謂得其所矣、豈得以私情惜之哉、遺書云願上報國恩之萬一、下不辱映君之令名、映君忠勝君也又云宗家宜敬重之、弟妹宜教育之、亦以足想見其生平矣、君資性誠實忠愛爲人所推重、浮屠諛曰耀國院殿精忠慈彦大居士、享年二十八、未娶、弟忠晃君奉祀、母遠山氏猶健在、一姉二妹皆適人、幼妹在家銘曰、

維 忠 維 義 死 報 國 恩 克 繩 祖 武  
不 辱 家 門 勒 石 不 朽 以 慰 英 魂  
明治三十九年八月 從三位 子爵 杉柳 浦澤 重剛 剛 書撰

### 泉村を廻る 人材元日

錦波生  
齒科醫院主として、斯界に名聲ある人、患者に對し頗る親切に接觸するので好評がある性尤も温良なる人格者である。

江尻博孝氏  
氏は郡南唯一の有産家として、亦、徳望家として尤も信用に富む紳士である。現在警東銀行頭取の重職を持ち警城財界に於ける樞要人物として活躍を續けられてゐる。

齋藤昌孝氏  
泉村軍人分會長として在郷軍人及び青年精神作興の爲めに盡瘁しつゝある人、尙消防組頭の榮職に在つて職務の爲め献身的努力を爲してゐる。

前村長 中村立躬氏  
ける名譽ある村長として餘りにも克知名されてゐる。泉村の盛因を出し得たる功績は實に氏の双肩に在り云ふも決して過言ではない故に其の功績顯著なるを賞表まらるる七月中尤も名譽ある勳七等瑞寶章を授けらるゝに至つた。而して最も大書すべきは常に勤儉力行を唱へた人で大正七八年の最況時に處してよく村民の冗費を戒儉素を旨とせしめたる關係最も力あつて現在の不況時にも不拘殆んど税金の滞納者を見ざる好果を擧げてゐる。

佐々木三郎氏  
上遠野新重郎氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

猪狩健次郎氏  
氏は常に職務に忠實なり郵便局長として定評ある人尙公益心に富む人格者として一般から敬信されつゝある泉村をして益々向上善訓する村長

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

齋藤昌孝氏  
泉村に降車した何人も其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてゐることに好感を持たれてゐる。偉なるなな同氏は各驛長を通しての勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

泉驛長 萩原末松

泉郵便局長 猪狩健次郎

泉尋常高等小學校 中野日廣次

泉消防組頭 齋藤昌孝

泉村 會田醫院

泉驛前 阿部醫院

泉村 佐々木科醫院

出版業 來島正時

江尻博孝

小名濱町長 鈴木榮

小名濱町助役 高木保

小名濱町(泉出張所) 久保田醫院

泉村役場助役 中村醫院

田子祐太郎

泉村役場助役

泉村役場助役

泉村役場助役

泉村役場助役

泉村役場助役

泉村役場助役

泉村役場助役

